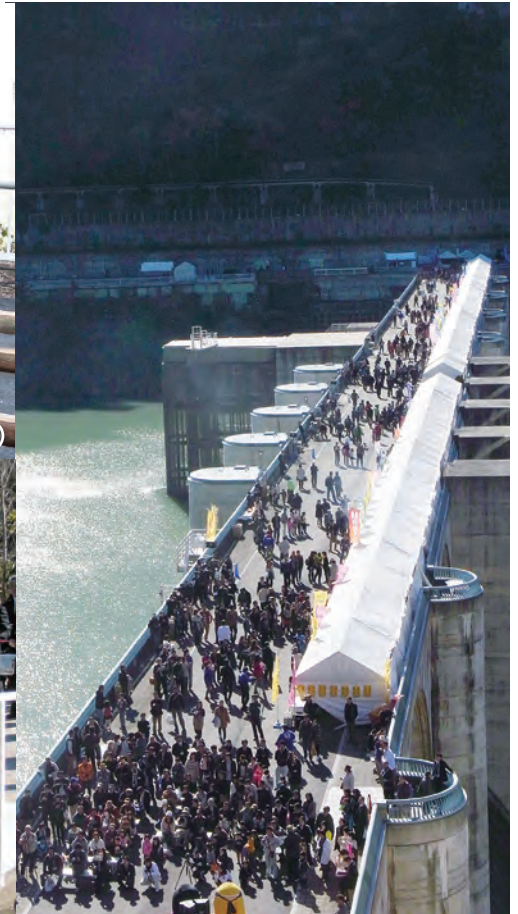




住みたくなる、住み続けられる地域づくり

主担当部局：南部東部振興監



目指す姿

医療の充実や移動手段の確保などによる社会基盤の整備を基礎とし、地域の魅力の発見・創造・発信、通勤圏内での雇用機会の創出や農林業・スモールビジネス等の振興による就業の場の確保により、南部地域・東部地域を「住みたくなる、住み続けられる」地域にします。



● 南部地域・東部地域の
交流人口(観光客数)

800万人

を目指します。

(平成24年：680万人)

● 南部地域・東部地域
への二地域居住・移
住を

増加

させます。

● 自分の住んでいる地域の活気
や魅力に対する

満足度

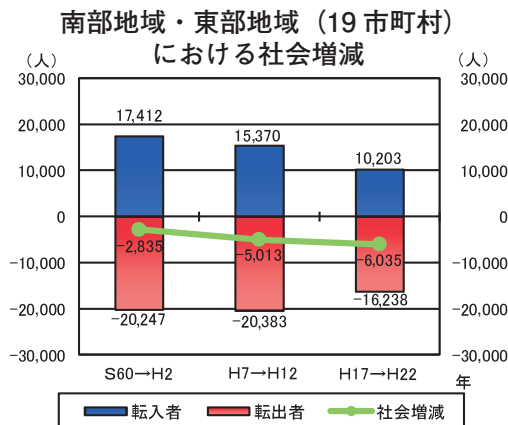
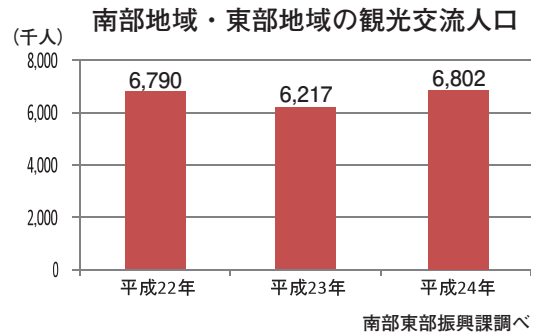
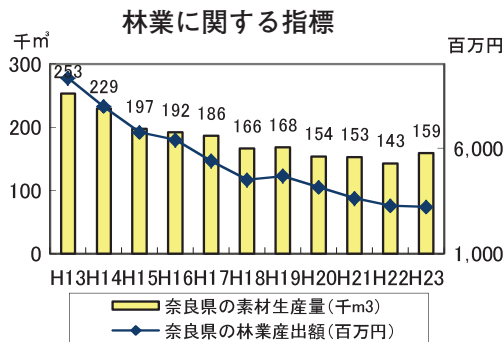
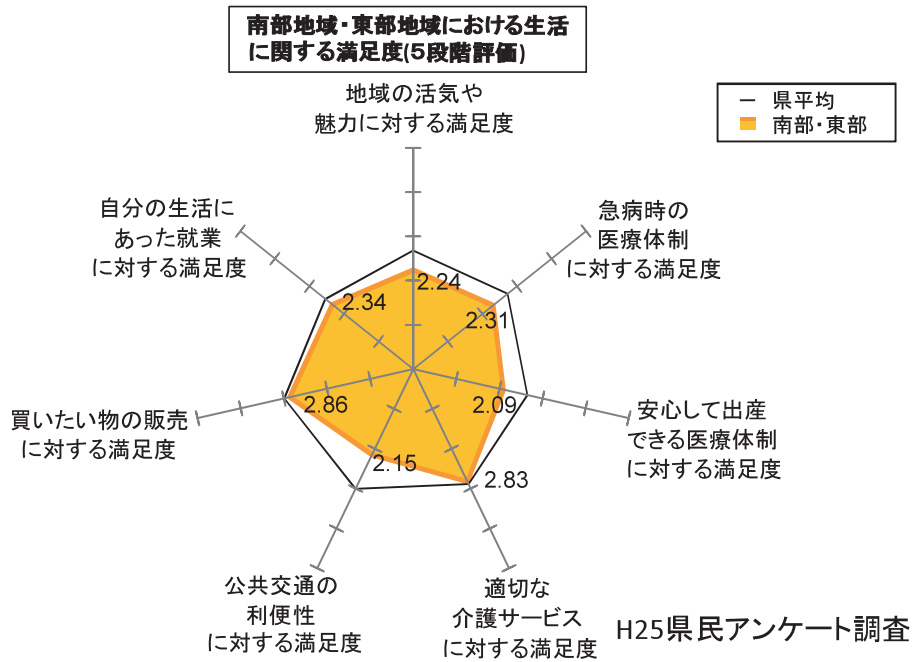
を高めます。

(平成25年度県民アンケート調査〈5段階評価〉 南東部地域2.16、南西部地域2.18、東部地域2.38、県全体2.68)

現 状

分析

■ 主な指標



- 南部地域・東部地域の観光交流人口は、紀伊半島大水害の影響により平成23年には前年を下回りましたが、平成24年には回復してきています。
- 南部地域・東部地域では、ほとんどの市町村で高齢化率が県平均(24.9%)以上となっています。
- 南部地域・東部地域のかつての基幹産業であった林業が衰退しています。

戦略1

南部地域・東部地域の振興の方策を検討し実行します。

主担当課：地域振興部 南部東部振興課

目標

- ▶ 南部振興計画及び東部振興計画の着実な実行により、南部地域・東部地域の振興と移住・定住の推進につなげます。
- ▶ 地元の情報やニーズをきめ細やかに把握し、市町村・住民団体等と協働して課題の解決を目指します。

取り組み

「南部振興計画」及び「東部振興計画」に基づく地域の振興



一町一村一まちづくりワークショップ

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
「南部振興計画」及び「東部振興計画」に基づく地域の振興				
◎「南部振興計画」及び「東部振興計画」の推進・充実	→ 推進・充実			
◎南部・東部振興推進プロジェクトの具体的検討及び支援	→ 実施			
◎東部を良くするプロジェクト事業の推進	→ 取組の推進			
◎一町一村一まちづくりの推進	→ 地元協議会の開催 まちづくり構想の策定・推進			

戦略2

地域の魅力の発見、創造、発信を行います。

主担当課：地域振興部 南部東部振興課

目標

- ▶ 地域の魅力を発見あるいは創造し、多元的な情報発信などにより**都市部との交流を進め、地域のにぎわいと活力を高めます。**

取り組み

宿泊産業の育成・支援

観光の環境整備

イベントの開催

観光拠点の整備

情報発信の充実

インバウンドの促進



「ほんのりあんどん」(うだ・アニマルパーク)

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
宿泊産業の育成・支援				
◎南部への宿泊観光の促進	プロモーションの実施・市町村の宿泊者誘致の取組への支援			
観光の環境整備				
◎森林とのふれあいの推進	立入利用、眺望活用のための整備			●継続検討
◎植栽による彩りづくり	里山林の整備			●継続検討
◎里山づくりの推進	森林環境教育の普及啓発、指導者の養成			●継続検討
◎自動車周遊観光の利便性を高める道路整備の推進	アクセス短縮や快適性の向上			
◎自転車利用促進による滞在型観光の拡大と県民の健康づくり	自転車利用ネットワークと利用環境充実、情報発信			
イベントの開催				
◎東部周遊観光の推進	取組の推進			
◎「弘法大師の道」の発掘・推進	高野山開創1200年に向けたトレイルランニングレース、ウォークイベントの実施			
◎第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～の開催	実行委員会の設置、大会PR、機運醸成			●開催
◎スポーツイベントによる魅力発信	天然あゆの活用			
◎地域活性化イベントの開催による地域復興支援	熊野古道小辺路でのトレイルランニングイベント開催支援			
	●開催 なんゆう祭開催	●開催 南部地域・東部地域での事業準備	●開催 南部地域・東部地域での事業準備	●開催 南部地域・東部地域での事業準備
	地域イベントを盛り上げる「おもてなし」プログラム支援			
観光拠点の整備				
◎うだ・アニマルパーク施設等整備	整備	有効活用		
◎飛鳥京跡苑池の公有化、復元整備	調整・整備			
情報発信の充実				
◎南部・東部地域における情報発信（インターネット等）	実施			
◎「うだ」の魅力発信	イベントの開催・広報活動			
◎「道の駅」の情報発信機能の充実	実施			
◎阪神高速と連携した周遊観光施策の実施	実施			
◎自転車利用促進による滞在型観光の拡大と県民の健康づくり（再掲）	自転車利用ネットワークと利用環境充実、情報発信			
◎三重県・和歌山県と連携した「吉野・高野・熊野の国」の展開	誘客に向けたプロモーションの実施			
◎JAならけんまほろばキッチン内の観光案内所における情報発信	コンシェルジュによる観光案内			
◎大学生による地域振興活動の実践	事業化に向けた検討	モデル的事业の実施	他の地域での事業展開	
◎キッチンカーによる魅力発信プロジェクトの推進	検討	導入	都市部での食のPRイベント、地域での試食会の開催	
◎奈良の歴史展示の推進	計画に基づいた事業推進			
インバウンドの促進				
◎新たなターゲットに向けた魅力の発信（個人外国人旅行者のインバウンド推進）	ファムツアーの実施		着地整備、商品開発	
	映像等による情報発信			



弘法大師の道トレイルランニングアカデミー



小辺路トレイルジャーニー

戦略3

安全、安心、快適な生活を支える社会基盤を整備します。

主担当課：地域振興部 南部東部振興課

目標

- ▶ 南部地域・東部地域で「住みたい」「住みやすい」と思う人の割合を増やします。
(平成25年度県民アンケート調査 南東部：54.5%、南西部：54.1%、東部：55.2%、県全体：63.5%)

取り組み

企業立地の促進

エリア毎の農業振興策の展開

県産材の利用拡大及び森林の生産能力の向上

鳥獣被害対策と野生獣の有効活用

南和地域の医療提供体制の充実

へき地医療体制の充実

高齢者支援の充実

信頼性のある道路ネットワークの形成

総合的な土砂災害対策の推進

清流吉野川の保全

生活交通の確保

新しい集落づくり

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
企業立地の促進				
◎中南和振興のための産業集積地形成事業	調査、地元説明、検討		産業集積地の形成	
◎優遇制度の充実	優遇制度の活用(補助金、優遇税制、低利融資)		制度の見直し・充実	
◎被災地域への企業誘致	補助金加算による企業誘致強化			
◎戦略的企業誘致活動の展開	トップセミナーの実施、首都圏・関西圏へのPR、的確な情報収集など効果的な誘致活動の実施			
エリア毎の農業振興策の展開				
◎柿産地の競争力アップ、茶のブランド力の強化		柿・茶の老木園の計画的な改植等		
◎地域特産物の振興		薬用作物等の生産振興		
県産材の利用拡大及び森林の生産能力の向上				
◎建築物への県産材利用拡大	公共建築物の木造化及び内装等木質化の推進、県産材を使用した住宅への支援等			
◎土産物等建築物以外への利用拡大		土産物等の開発、商品化の推進		
◎第1種木材生産林における低コスト集約化施業への支援		施業団地の募集		
		奈良型作業道開設、林業機械導入、架線集材施設等への支援		
◎木質バイオマスエネルギーの利活用の推進		実証実験の実施、普及啓発		
鳥獣被害対策と野生獣の有効活用		有害鳥獣の駆除・捕獲に対する支援、有効利用		
南和地域の医療提供体制の充実				
◎救急病院の整備	基本・実施設計	新築工事		
◎地域医療センターの整備	基本設計 実施設計		改修工事	
◎医療機能の再編		検討、協議、推進		
へき地医療体制の充実				
◎へき地医療を支える「総合医」の育成		育成プログラムの実施		
◎安定的な医師配置システムの運営		地域医療支援センター等の実施		
高齢者支援の充実				
◎地域で暮らし続けるための仕組みづくり	五條市大塔、十津川村での実施	実施、検証・見直し	検証・見直しを踏まえた実施	
◎モデル事業の実施		モデル事業の実施		
信頼性のある道路ネットワークの形成				
◎災害に強い「紀伊半島アンカールート」の整備推進		国道168号「五條新宮道路」及び国道169号の整備推進		
◎国道309号等の重点整備		国道309号丹生バイパス等の整備		
◎「なら安心みちネットプラン」の推進		道路ネットワークの遮断回避対策等		
◎老朽化した橋梁の補修及び耐震補強		計画的補修及び耐震化を実施		
総合的な土砂災害対策の推進				
◎「奈良県土砂災害対策基本方針」の推進	「代替性のない避難所」の保全等の実施		次期計画箇所への着手	
清流吉野川の保全				
◎吉野川清流対策(瀬切れ対策、水源地域対策、河川生態系保全対策、水質保全対策、水辺景観保全対策)		各施策随時実施		
◎流域ネットワークの設置・運営	関係機関による協議		設置・運営	
生活交通の確保				
◎バス交通確保のための対策		関係市町村・交通事業者等との協議、施策の実施		
◎奈良交通(株)との連携協定に基づくバス交通支援		協議、施策の実施		
新しい集落づくり	計画策定	市村への支援		

戦略4

南部地域・東部地域への移住を推進します。

主担当課：地域振興部 南部東部振興課

目標

- ▶ **移住・定住に関する情報発信を充実し、南部地域・東部地域の市町村への空き家バンク、ワンストップ窓口の設置などを推進することで受入体制を整備します。**

取り組み

市町村での空き家バンク、ワンストップ窓口の設置推進

移住・二地域居住のための拠点整備

移住者・二地域居住者の起業支援

ふるさと復興協力隊の設置及び活動支援

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
市町村での空き家バンク、ワンストップ窓口の設置推進				
◎空き家バンク制度の充実		参加市町村・登録物件の充実、情報発信等		
◎市町村へのワンストップ窓口設置の推進		設置推進		
移住・二地域居住のための拠点整備				
◎移住者の職と住の拠点整備支援		モデルプラン作成	施設整備、運営	
◎コミュニティビジネスの開発育成		実施		
移住者・二地域居住者の起業支援				
◎移住者の起業支援	検討	移住者の起業を支援		
ふるさと復興協力隊の設置及び活動支援		運営・活動支援		
◎隊員の任期後の定住支援	定住に向けた検討	具体的定住支援の実施		

これまでの成果

南部振興計画及び東部振興計画の改定を実施しました。(平成25年6月、平成26年3月)

紀伊半島大水害からの復興のため「**なんゆう祭**」を川上村で開催、のべ4,950人の来場者がありました。(平成25年11月)

小辺路トレイルジャーニーを開催し、30名の参加者がありました。(平成25年5月)

まほろばキッチンがオープンしました。(平成25年4月)

「**弘法大師の道トレイルランニングアカデミー**」を開催し、**18名の参加者**がありました。(平成25年11月)

知事が会長を務め、市町村長や交通事業者等から構成される**奈良県地域交通改善協議会**で奈良県における地域交通のあり方について議論し、県の示した方針が概ね了承されました。(平成25年2月20日、7月17日、10月30日開催)

国道168号 五條新宮道路 風屋川津・宇宮原工区が直轄権限代行として新規事業化されました。

森林とのふれあいの推進のための整備が、**南部地域で2ヶ所**(吉野町、高取町)、**東部地域で1ヶ所**(曾爾村)完成しました。(～平成25年)

バイオマス実証実験を御杖村で実施しました。(平成25年8月)

南和救急病院等の建設工事にかかる基本設計・実施設計が完了し、**病床区分と病床数を設定**しました。

- ・232床(一般病床188床、HCU(重症患者病床)8床、回復期リハビリ病床36床)
- ・22診療科(総合内科、循環器内科等)、7センター(消化器センター、糖尿病センター等)

森林施業集約化団地**8団地**で**奈良型作業道の開設及び利用間伐等を実施**しました。

五條市の北宇智工業団地で**県南部地域で最大敷地面積の大型工場**が**操業開始**しました。

主な指標の動き

よくなっている指標

◆地域の活気や魅力に対する満足度

南東部地域：2.09 [H24] → 2.16 [H25] 東部地域：2.17 [H24] → 2.38 [H25]
 ・南東部地域及び東部地域で、満足度が前年度を上回りました。

◆公共交通機関の利便性に対する満足度

南東部地域：2.11 [H24] → 2.17 [H25] 南西部地域：1.76 [H24] → 1.95 [H25]
 ・南東部地域及び南西部地域で前年度を上回りました。

◆急病時の医療体制に対する満足度

南西部地域：2.27 [H24] → 2.29 [H25] 東部地域：2.43 [H24] → 2.44 [H25]
 ・南西部地域及び東部地域で前年度を上回りました。

変化が見られない指標、低下している指標

◆買いたいものの県内販売に対する満足度

南東部地域：2.91 [H24] → 2.89 [H25] 南西部地域：2.92 [H24] → 2.84 [H25]
 ・南東部地域や南西部地域で、満足度が前年度を下回りました。

◆自分の生活に合った就業に対する満足度

南東部地域：2.28 [H24] → 2.25 [H25] 南西部地域：2.47 [H24] → 2.42 [H25]
 東部地域：2.38 [H24] → 2.34 [H25]
 ・全ての地域で前年度に比べて下回りました。

◆適切な介護サービスに対する満足度

南西部地域：2.98 [H24] → 2.81 [H25] 東部地域：2.80 [H24] → 2.75 [H25]
 ・南西部地域及び東部地域で、前年度を下回りました。